

技研ニュース

GIKEN-NEWS No.153

財団法人 自転車産業振興協会 技術研究所

1996.9



Windows 95でJBTCネットと接続する

昨今はインターネットの急速な普及により、パソコン通信の存在が薄くなったかのように思われるかも知れません。当技研が主管し、技術分野の情報を提供しているJBTCネットは、インターネットでの情報広告も準備していますが、主たる情報提供の場であるパソコン通信を維持し、育成していく姿勢に変わりありません。

Windows95の登場により、パソコンが一層使いやすくなってきており、標準で収められている通信ソフト「ハイパーターミナル」は、基本的な機能を持ちながら手軽に商用ネットと接続できるソフトとなっています。

同ソフトを利用して、JBTCネットと接続する手順を以下に説明します。

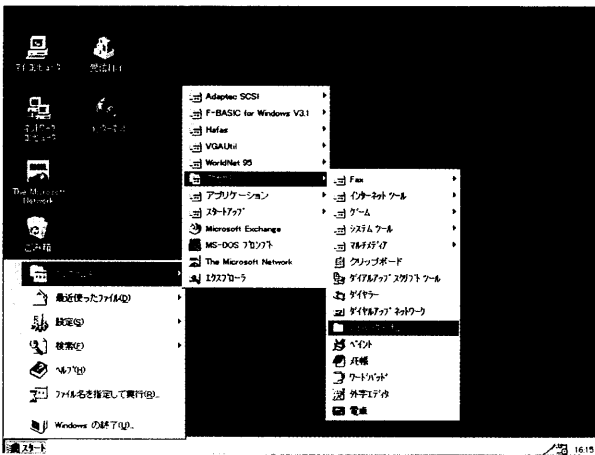


図1 Windows95を立ち上げ、デスクトップ画面にする。スタートボタンをクリックしメニューからプログラム—アクセサリ—ハイパーターミナルとクリックする。

JBTCネット事務局

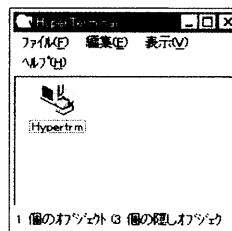


図2 Hyper Terminalフォルダが表示されたら、JBTCネットとの接続手順を新しく作るので、Hyper Termアイコンをダブルクリックする。(このあと、モデムがセットされていないと、その設定画面が表示されるが、今回は省略する)

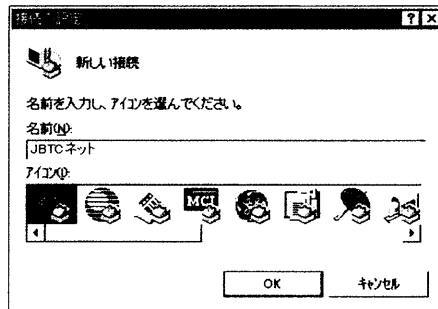


図3 新しい接続というウィンドウのもとで設定を行う。名前(例、JBTCネット)の入力、使用するアイコンの選択などを行い、OKボタンをクリックする。

電話番号のウィンドウでは、JBTCネットの接続番号の市外局番0568,電話番号68-1460を入力する。

また、接続のウィンドウでは、接続するためのダイヤルを実行する前に、電話回線の種類を設定・確認しておくため、ダイヤルプロパティのボタンをクリックする。

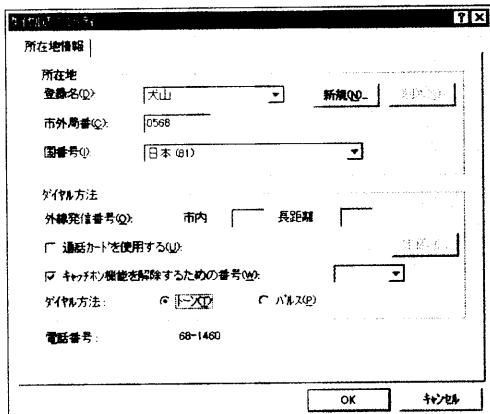


図4 **ダイヤルプロパティ**の画面では、特にダイヤル方法の**トーン**か**パルス**に注目し、使用する電話回線の種類に合わせていずれかをクリックし、**OK**ボタンをクリックする。

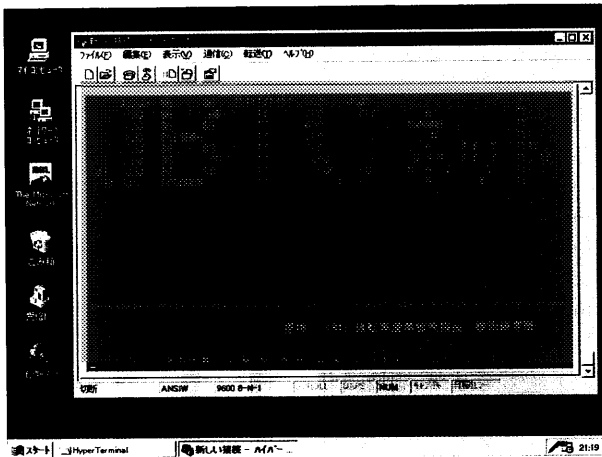


図5 接続の手順に従って、ダイヤルすると、JBTC ネットに接続され、ネットの初画面が表示される。(当初は、黒字に白文字となるが、後述の設定後は白地の黒文字に代わる。)

ID番号、**パスワード**の入力画面では、会員に与えられた**ID番号**、そして**パスワード**を入力する。

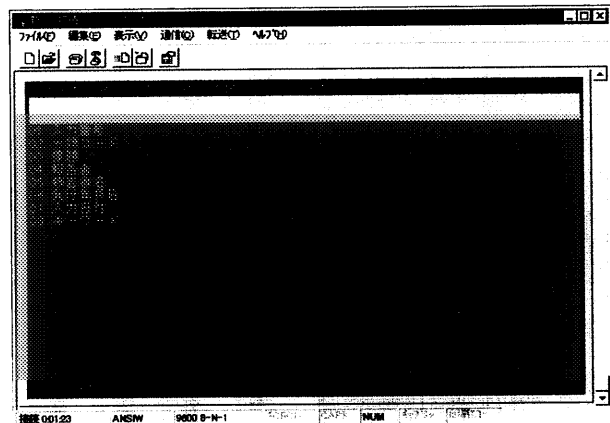


図6 ネットのサービスメニューに入り、データベース検索を指示して、研究報告書情報を検索すると、図の検索入力画面が表示されるが、入力画面の上部の一部(2~4行)が白抜きとなっている(文字が裏に隠れている)。

これを次の方法で表示させる。

メニューバーの**ファイル**から**プロパティ**を選ぶと**JBTC ネットのプロパティ**のウィンドウが開かれ、**設定タブ**を選んで、**エミュレーション**の選択ボタンをクリックし、**ANSIW**から**VT100J**へ置き換え、**OK**ボタンをクリックする。

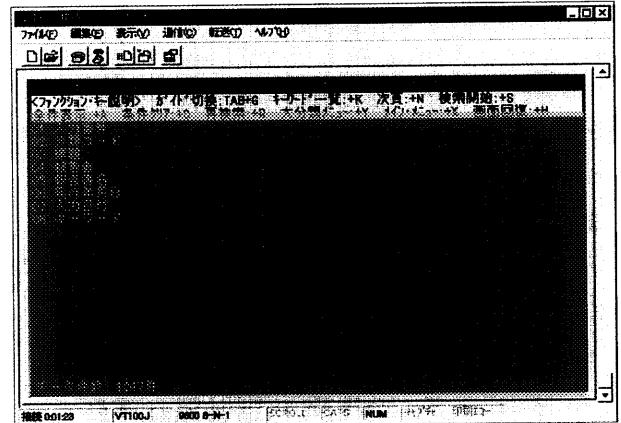


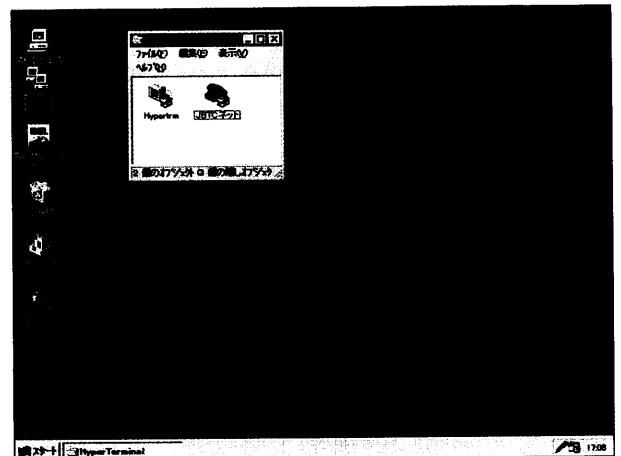
図7 **エミュレーション**を変更することにより、今まで白バックで隠れていた文字が表示される。

通信ソフトを終了するには、メニューバーの**ファイル**から**ハイパーターミナル終了**を選ぶ。

ハイパーターミナルの終了時には、セッション**JBTC ネット**の**保存**を聞いてくるので、2度目以降の接続を簡単にするため、これを**保存**する。

すると、下図のように、Hyper Terminalホルダーに**JBTC ネットのアイコン**が作成されるので、これをデスクトップ上にドラッグする。

次回からは、この**アイコン**を操作することで接続できる。



本詳細については、技術研究所**JBTC ネット**事務局までお問い合わせください。